

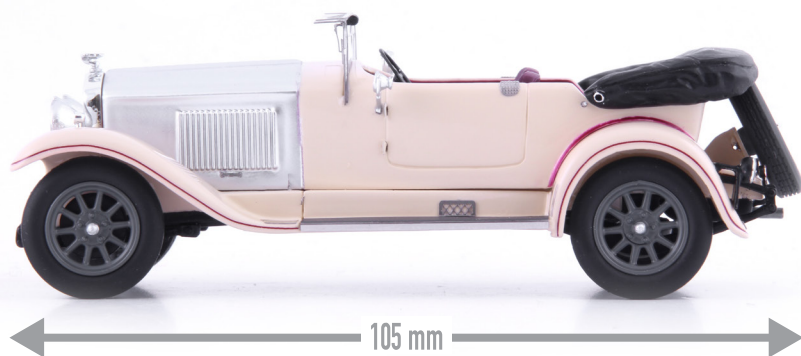
scale 1/43

#02025

available

06/2021

limited edition 333 Stck.



ダイムラーの夢

今日でも車愛好家にとって、ホルヒの名は高度に洗練された最高のクオリティのラグジュアリー車と同義語である。この時代は1920年と1930年代とされ、とくにホルヒ8の時代に分類される。8は単にシリンダーの数を表す。そのような巨大であると同時にパワフルなエンジンは1920年代には純粋に高級なものとみなされていた、しかしこれは実に作成者ポール・ダイムラーの野望でもあった。ダイムラーの名は当時、車の歴史上もっとも偉大なメーカーのオーラを発していた。そしてポールは伝説的人物ゴットリーブ・ダイムラーの長男であった。1924年からポール・ダイムラーは4シリンダーエンジンを2つ連結して、8シリンダーエンジンを作り出すプロジェクトに取り組んでいた。

1926年ベルリンで開催されたドイツモーターショーの初日。ホルヒ8と名付けられたモデルに対する反応は極めて手ごたえのあるものであった。それは当時ドイツ初の8シリンダーエンジンを搭載した乗用車

であるということが強調された。社内では省略形で303と記録されていた。

1927年にはホルヒは既に後継車であるタイプ305、306を世に出していた。その目玉は3.4リッター、65馬力に増加されたエンジンであった。最終的にタイプ350がポール・ダイムラーの最後の作品となった。彼は60才でホルヒを去り、フリッツ・フィルダーがその後を引き継いだ。タイプ350と375の大幅な軽量化を進めつつ、彼は8シリンダーシリーズを改良し続けた。彼の指揮のもと、タイプ400と405が作り出された。その2タイプの違いはホイールベースの長さであり、405がより長いバージョンであった。4年の時が流れ、それらの2種のモデルはホルヒの最後の大型モデルとされ、1930年から1931年まで存続した。

最終的に、約8,500台が生産されたので、このシリーズが確かに成功だったと表現することができるだろう。タイプ400と405によって、ポール・ダイムラーのスピリット

は消滅した。なぜならその後の後継車にはフリッツ・フィルダーデザインの8シリンダーエンジンが搭載されたからである。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de